

研究主題 主体的に学ぶ児童生徒を育成する教育活動の創造
～児童生徒の問いが生きる「考える授業づくり」を通して

「第1回 川尻中学校区小中一貫教育合同研修会」開催

4月30日(木)、本年度の川尻中学校区の研究推進について、小学校・中学校・幼稚園・保育所が集まって、方向性を確認し、今年度の取組について話し合いました。

川尻中学校区の研究について

今年度の研究主題にある「主体的に学ぶ児童生徒」を育成し、学習内容を定着させるために、次のことに取り組みます。

- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、授業を構成する。
- 「川尻中学校区の授業モデル」を基に、児童生徒の問いが生きる授業づくりを工夫する。
- 単元でつきたい力を具体化し、指導と評価の一体化を目指す。

3部会の協議内容について

児童生徒の学習の基盤となる学校生活を充実したものにするために、3部会で、今年度の取組の進め方について話し合いました。

確かな学力部会

昨年度の取組の結果、小中共に「文章から必要な情報を正確に取り取り、根拠に基づいて自分の考えをまとめる力」に課題があることが分かり、読むこと・書くことを取り入れた読書活動の充実に向けて取り組みます。

- 【幼稚園・子ども園】 家庭へ読み聞かせの良さを伝え、おすすめの本を紹介する。
- 【小学校】 図書委員会の活動の活性化。自主勉強で感想文を書き、紹介する。
- 【中学校】 短い内容の本を読み、感想文を掲示するなどして共有する。

夢や志を育むキャリア教育部会

- 【あいさつ運動】 「自分からあいさつする」など各自が目標を持って参加する。学期に1回のペースで実施。
- 【陸上教室】 今後、部員が減ることも想定し、来年以降どう取り組むかを検討しておく。
- 【異年齢交流】 今年度は中1と小3で、合同の清掃活動を実施。

健やかな体部会

- 【体力づくり】 新体力テスト(50m走・握力測定)、くれチャレンジマッチの取組を充実させる。
- 【食育】 中学校家庭科と小学校栄養教諭が連携し、出前授業を行う。
- 【生活習慣】 視力の低下が課題。小学校は「元気アップ週間」、中学校は「デトックスweek」で、スマホ・タブレットなどの視聴時間を見直す取組を行う。